

新規就農者激励会にあたって

校長 森 武晴

皆さんは将来、農業経営者になるとの想いを持って、この島原農業高校へ入学しました。そして、それから3年間、専門性を高めながら意欲的に学んできました。さらには、本校で結成している『みらい就農育成プロジェクト「島農若葉の会」』の一員として、卒業後の就農に向け、取組、実践してきた「島農若葉の会第6期生」でもあります。島農での学びの中で、農業専門分野の視野を広げ、知識と技術を深めてきたことと思います。

そのような皆さんに将来、地域社会のリーダーとなって、地域農業を支え、この島原半島の農業をさらに発展させ、活気あるものにしていただきたいとの願いのもとに、私から、それぞれの想いに向かっていく皆さんに、次の三点をお願いしたいと思います。

第一に、「高い目標をもって、その実現のために、日々努力してもらいたい」ということです。農業は、やり方次第で大いに成功できる夢のある産業です。

今年度、三会小学校、三会中学校とふるさと教育で地域の分校ファームの皆さんにお世話になりました。メンバーのほとんどが皆さんの先輩です。分校ファームの皆さんは、「島原の湧水、雲仙山麓の肥えた土壌、火山の恵みで育てた野菜」を売りとして、四季折々の多種多様な島原産ブランド野菜を、県内はもとより、関西、関東エリアまで出荷されています。自分が育てた野菜にプライド・自信を持って、全国展開されています。皆さんも、志を高く掲げ、皆さんが生産したものが多くの方々に求めてもらえるよう、目標を定め、努力を続けてください。

第二に、「常に向学心をもった農業経営者であってほしい」ということです。皆さんは島原農業高校で、専門分野について多くを学んできたと思います。当然のことながら、それだけではこれからの農業はやっていけません。常に新しい情報にアンテナを張り、知識・技術をアップデートしていくことが必要です。既存の技術だけに留まらず、加工・流通・販売に至るまでの6次産業化に向けた戦略やAIやドローン等を活用した「スマート農業」の導入、地域産業とのタイアップ等、最新の知識・技術、また、手法を求めて、絶えず学び続けることによって、自分の専門分野では誰にも負けない、という経営をしてほしい、と期待しています。

第三に、「仲間を大切にし、共に前進してほしい。」ということ です。

農業経営は一人ではなかなか難しいものです。ここに集う十四名、また、皆さんの地域、あるいは、県外においても、同じ夢を持つ仲間と共に語り合い、お互いを認め、時には競い合い、また、悩みや課題の解決に向け、助け合い、切磋琢磨しながら、大きく飛躍していったほしいと期待しています。

これから皆さんが島原半島を支え、そして、長崎県を支え、さらには日本を支え、世界と渡り合える農業経営者になっていくことを心から願っています。

令和7年2月（令和6年度新規就農者激励会 校長挨拶抜粋）